



## 長野俊英高等学校 第 3 回学校見学会について

- 1 日時 12月18日(土)
- 2 日程
  - ・受付 9:00
  - ・体験授業 9:30~
  - ・ガイダンス・個別相談 10:30
  - ・個別相談 10:30~13:00
- 3 申し込み方法  
各担任から俊英高校専用の申込用紙をもらい、必要事項を記入の上提出をしてください。提出〆切は12月13日(月)朝  
併願する場合も個別相談を受けてください。

## 蓼科高等学校 学校説明会について

- 1 日時 1月14日(金)
  - 2 日程・内容
    - (1) 受付 9:20~
    - (2) 諸連絡 9:40~
    - (3) 授業参観 10:00~
    - (4) 学校説明会 10:50~
    - (5) 質疑応答、希望により個別相談
- \*体験授業、部活動見学、ポプラアカデミーの見学はありません。
- 3 申し込み方法  
「高校体験入学等申し込み」を進路室前から持っていき、提出〆切は12月24日(金)  
中学校も授業日のため、保護者の方の送迎をお願いします。なお、蓼科高校の説明会が終わり次第、中学に登校します。

## 進路の書類準備 その2

私立学校長推薦・自己推薦・公立前期受検希望の皆さんは、懇談会で確認ができたところで、書類の準備を始めます。

**私立推薦関係は願書等の下書きから清書まで12月中に行います。**  
面接練習は12月中に1回実施します。冬休み中に各自練習を重ね、冬休み明けに再度、面接を実施します。

公立前期の志願理由書等は懇談会で確認がとれたところで、各自、進路室前のレターケースから下書き用紙を持っていき、期日までに書いて、担任に提出します。点検後に再提出・清書用紙などを配布され、12月中に下書き完成です。冬休み中に清書して、3学期始業式に提出となります。面接練習は1月から始めます。担任の先生が窓口になり、志願理由書や願書の下書き点検、面接練習など、学年の先生方の協力を得て行います。また、校長先生、教頭先生をはじめ五中の先生方全員がみんなのバックアップをします。

だからこそ、次のことがきちんとできるようにしましょう。

1. 話をよく聞き、理解する。打ち合わせなどの時間に遅れないようにする。
2. 自分のスケジュールを頭に入れ、少し先まで考え、提出物は期日を守る。できれば、1日前を目標とする。(余裕をもつ)
3. 志望校について研究・理解しておく(例えば、面接では総合学科の特長について質問されます。上田西高校は4つのステージについて聞かれます。)各学校の募集の観点を確認しておく。
4. 指示待ちをせず、自分で考えて動く。  
面接練習は1人2回は先生方から計画が出ます。3回、4回と練習をしたい人は自分から竹谷先生にお願いをし、計画を立ててもらいます。また、作文についての指導は三ツ石先生が中心に指導してくれます。他のことで相談をしたい場合は担任及び高橋まで。
5. 面接の本(新・面接の答え方)に自分の事をしっかり書くことで自己理解になります。作文の書き方も載っています。熟読しておきます。

推薦・前期受験にかかわらず、時間を守る。授業に集中する。学校生活のルールを守る。

服装、清掃、あいさつなど当たり前のことをきちんとやっていますか？まずは、基本が大事です。

## 進路の書類準備 その3 「志願理由書」

～後期入試1本で頑張る人も、いずれ、大学入試や就職活動等で役に立ちます。  
一読しておきましょう～

### 1. 最も大切なこと

「前期入試」は「自己推薦入試」です。自分を自分で推薦して、それを高校に評価してもらう入試です。後期入試と違ってこれまでたくさんの方が涙をのみました。高校は高校の基準に達していなければ、定員を割っても不合格にします。その学校に合っていなければ合格しないということですね。では、その学校に合っているということはどういうことでしょうか？  
次のことが志願理由書に書けるか、面接でアピールできるか考えてみましょう。

- (1)「私はこの学校にこういう理由で入学したいのです。」という志願の理由が明確である。
- (2)「私はこういう素晴らしい特徴があります。」という自分をアピールできる事柄がある。
- (3)「私はこういう夢を持っています。その夢の実現のためにはこの高校に入学し、このような活動を行っていきたいです。」と自分の進路について考えをしっかりと持っている。
- (4)「私は3年間こんな中学生として頑張ってきた。」と中学校で頑張ってきたことに自信を持っている。

前期入試に費やす「時間」「努力」「精神的な負担」は、大きなエネルギーを必要とします。そのため、前期入試を受けたことで後期入試の合格が遠のく場合もあります。前期入試が自分に合っているかを考えることも自己理解の一つです。

### 2. 志願理由書の書き方ポイント

- (1)高校から提示されている書き方の例を参考にする。志願理由書に書いてある注意書きを熟読して、高校の指定のとおりを書く。
- (2)文字は丁寧に楷書で書く。この文章を読んで高校の先生がよい印象を持つように丁寧に書く。誤字脱字がないように書いたう読み返す。何度でも直す。
- (3)修正液は使わない。HBや2Bの濃い鉛筆(シャープペン)で書き、清書はコピーする。保護者の欄は直筆で書いてもらう。
- (4)「具体的な事例」が大切。修飾語で強調(たいへん、とても、素晴らしい等々)するのではなく、自分にしか書けない事柄を具体的に書く。

〈イマイチの例〉 部活動を3年間頑張ってきました。この経験を通して継続することの大切さを知りました。(誰でも書きそうな文章で印象に残らない)

〈オススメの例〉私は、毎日他の人より早く体育館に行き、ネットを張りました。道具の準備をするなどチームのために汗をかくことの大切さを顧問の先生に教えていただいたからです。そしてチームで一番声を出し、苦しい練習にも率先して取り組みました。そういう努力もあって、レギュラーになりました。努力は裏切らないことを学んだ部活動でした。高校入学後もこの気持ちを持ち続け、全国大会を目標に努力していきたいと思えます。

### 3. 志願書を書く手順

(1) 高校の募集観点を熟読し「高校はどんな生徒を前期入試で募集しているのか」を理解する。

(例) 上田千曲高校

募集の観点〈全科共通〉

基礎的な学力と基本的な生活習慣が備わっており、各専門科の募集の観点を十分に理解し、次のいずれかに該当するもの。

① 入学後も意欲的に学習をする意思があり、資格取得を含めた学習の成果により進路実現を希望する者

② 部活動・生徒会活動に積極的に取り組み優良な活動実績をもち、入学後も継続して活動する意欲のある者(意欲的に活動する強い意志を持っている者)

〈建築〉

「建築」に興味と関心があり、将来は建築関係の進路を希望する者

例文 「私の父は建築関係の仕事に従事しています。何回か父の仕事場を見学する機会がありました。そこで見た父の仕事の様子は私の心を打つものでした。何度か父の仕事場を見学することで、私は建築関係の仕事に就きたいと思うようになりました。それからは、特に技術と美術の授業に力を入れて取り組むようにしました。」

(2) 自分のアピールポイントを明確にする。

- ・「基本的な生活習慣」が身につけていることは当たり前。人一倍清掃に熱心であるとか、ゴミ拾い登校は欠かさずに協力したなど。
- ・部活動は3年間続けるのは当たり前。自分は何をしたのか、何を学んだのかが大切。

(3) 自分の進路に明確な考えを書く

何となく「総合学科」が楽しそうだから志願しました。ではダメでしょう。将来は「通訳」になりたい。そのためには「中国語」が選択教科にある総合学科を選びました。というように高校の授業内容も調べておくといい。

「新 面接の答え方」を購入した人は、第2章の面接の質問に自分の答え方を記入しておきましょう。第3章の志望理由・自己PRは志望理由書を書くときに参考になるので、よく読んで、記入をします。作文や小論文が出題される学校を受験する人は、第4章の作文・小論文の書き方を参考に自分でどんどん作文練習をします。そして、全員、面接練習が始まる前に第1章の面接のマナーと常識を見ながら練習をし、日常生活の中でも身だしなみ、立ち居ふるまい、正しい言葉使いを心がけていきましょう。

もちろん、3学年全員 第5回総合テストに向けて、懇談会中からテスト勉強していますよね？

午前授業で下校ですから、家に帰って最低4時間は学習してますよね？

今が大事。時間を有効に活用しましょう。

～志願理由書 見本～